

TOPICS

オンラインで開催！

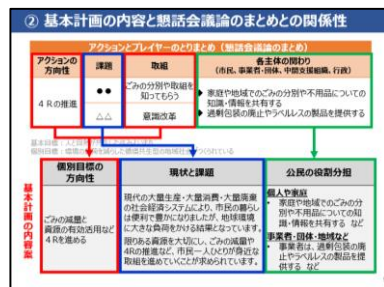
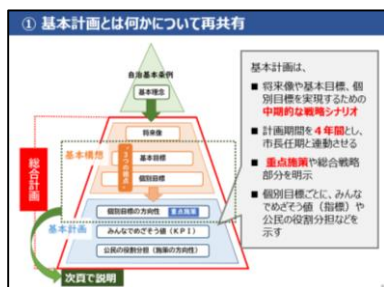


第25回目は、基本構想素案・基本計画骨子案・都市計画マスタープラン(全体像・試案)の内容を共有し意見交換するとともに、PDCAサイクルの仕組みやあり方について議論しました。

とことん1

到達目標 基本構想(素案)、基本計画(骨子案)、都市計画マスタープラン(全体像・試案)の内容について、共有・意見交換しましょう

第23回(書面開催)で出された意見とその対応について事務局から説明しました。また、基本計画の内容と懇話会議論のまとめとの関係性について再共有しました。



【意見】

○基本計画の策定の考え方についての大枠は理解できたが、計画の内容についてはグループに分かれて議論する必要があると思う。

など

■開催概要

第25回：令和4年 2月27日（日）
場 所：オンライン+市立公民館・中央地区公民館（臨時オンライン会場）
参 加 者：市 民：現地オンライン 6名 オンライン 11名
若手職員：現地オンライン 7名
桃山学院大学 岩田 考先生
議 題：1. 次期総合計画と都市計画マスタープランに対する意見照会の結果について【第24回の続き】
2. 計画案に示す「PDCAサイクル」について
3. 次回について

とことん2

到達目標 「PDCAサイクル」について、その仕組みやあり方などについて、さらに議論を深めましょう

前回PDCAサイクルのフェーズごとに出した意見を振り返り、下記の3点をテーマとして5つのグループに分けて議論し、全体で意見を共有しました。

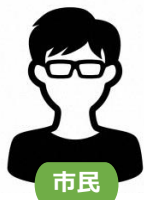
【検討テーマ】

- ①各主体が自分ごととして総合計画を実行に移すための「みんなでめざそう値」
- ②継続的に議論して取組に反映するための仕組みについて
- ③とことん懇話会で議論してきた「具体的なアクション」について

Aグループ	①他市含め広域的な視点が必要。夢のある指標がよい。 ②活動・思いの共有する場があるとよい。
Bグループ	①いろんなチェックシートが必要。 ②仕組みの入り口を考える必要がある。懇話会を広げる。
Cグループ	②過去の経験や知見によって差異が出るため、幅広い市民が参加し議論できる仕組みが必要。
Dグループ	②SNSで盛り上がった内容を広報さしわだでも掲載する。新たな団体や居場所づくりは時間がかかるため、既存の取組を、形を変えて活かす。
Eグループ	②すべての意見を集約することは難しい。直接議論・対話することが必要で、そのために常設のサポートセンターが必要。

とことん3

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です



市民

- 例えば、参加者がまちづくりの情報発信を実際にやってみてアクセス数や発信の課題を検証するなど、市民がまちづくりを自分ごととして動き始める仕組みが懇話会の中で少しでもできると、懇話会もとても意味のあるものになると思います。
- 懇親会のような機会、場に参加しない人が、“思わず意見を言いたくなる”、“知らない間に協働している”ような仕掛けが必要だと思いました。



若手職員

など

■今後の予定

【第26回】令和4年 3月 13日（日） ➡ 基本計画(素案)の議論に向けて

【第27回】令和4年 3月 27日（日） ➡ 中止

お問い合わせ：岸和田市役所 総合政策部企画課 政策担当 （tel. 072-423-9492）